

長崎県新幹線開業効果拡大推進本部会議（第3回）概要

日時：令和4年6月30日（木） 15:30～17:00

場所：出島メッセ長崎 コンベンションホール

1. 県の主な取組について

別添資料により説明。

2. 意見交換

○JR九州からの説明

- 鹿児島ルートでは部分開業時でも、利用者数が博多－熊本間約 1.1 倍、熊本－鹿児島中央間が約 2.3 倍となった。
- 新幹線の効果は観光面のみならず、大都市へのアクセス向上や通勤・通学エリアの拡大により、定住人口の増加や都市機能の充実に繋がる。
- 長崎での気運醸成は新幹線の実物の車両が圧倒的インパクトを持ち、その報道が効果的。一方で報道量が少ない関門海峡以東は「観光誘客」が効果的。
- 開業効果の県内全域への波及・拡大のため、新しい観光列車「ふたつ星 4047」の運行や周遊きっぷの販売、「36 ふらす3」や「ななつ星」の新コースの設定等を行う。

○主な意見等

- 7月30～31日に3年ぶりに「ながさきみなとまつり」を開催。海上輸送途中の新幹線かもめの車両を水辺の森公園で市民の皆様に見ていただきたい。また、3年連続で長崎くんちは中止となったが、10月に全踊町43カ町が一堂に会するイベントを開催する予定。
- 今回の開業の効果を県北に呼び込まないといけない。ハウステンボスから平戸、松浦まで足を延ばしてもらうために、イベント列車の企画や現地の観光協会と連携した仕掛けづくりを進めている。
- 教育、部活、介護のために新幹線を利用する例がある。多面的な機能を分析して、地元の方々の利用促進についても力を入れるべき。
- 素晴らしいものがありますと言うだけでは、観光客はなかなか現地まで行ってくれない。例えば新幹線駅周辺で西海井フェアを行い、実際に食してもらうことで、次は現地で食べてみたいという動機づけに繋がる。駅を入口として、県下に経済的効果をもたらす仕組みを作ることが重要。

○知事（まとめ）

- 開業は終わりではなく、始まりである。県としても1人でも多くの誘客、リピーター獲得のため、心のこもったおもてなしや受け皿づくりなど、開業効果を更に県内全域に波及・拡大させるためにしっかりと頑張るので、引き続き皆様方のご協力をお願いする。

# 県の新幹線開業に向けた主な取組について



## 1. 西九州新幹線開業！長崎の魅力発信イベント

日時：令和4年6月18日（土）14：00～16：00

場所：ホテルニュー長崎

概要：【講演】 ジャパネットグループスポーツ・地域創生事業について

〔（株）リージョナルクリエーション長崎 折目執行役員〕

- 長崎スタジアムシティプロジェクトは「V・ファーレン長崎」の新スタジアムを中心に、「アリーナ」「ホテル」「商業施設」「オフィスビル」を一体開発するプロジェクト。（2024年開業予定）
- V・ファーレン長崎や長崎ヴェルカの活動等を通じて、世界遺産や観光、食といった長崎の魅力を全国の皆様に伝え、長崎を訪れる人を増やすことに貢献したい。

### 【開業に向けた取組：事例発表】

〔（株）杉永蒲鉾 杉永社長〕

- 水産練り製品ブランド化事業を「産学官・広域連携」で取り組んでおり、「長崎かんぼこを全国区に！」を目標に掲げ活動している。
- また、長崎街道かもめ市場に「長崎かんぼこ喜味富」をオープンし揚げたてのおいしさを地元や観光客に届けている。

〔佐世保観光コンベンション協会 下澤部長〕

- 広く西九州地域を周遊してもらうため、ドライブルートや観光情報を紹介するWEBサイト「Drive Japan West Kyusyu」を立ち上げた。
- 参加者の皆様は、自分のスマートフォンを使い、ドライブルートやグルメ情報の検索方法等を実際に体験。

### 【トークショー『長濱ねる氏の新幹線広報素材発表!!』】

〔西九州新幹線長崎県広報大使 長濱ねる氏〕

- 広報大使として県外へ長崎をPRするにあたって、諫早市のフルーツバス停や東彼杵町の千綿駅など県内各地を訪れ、長崎の良さを再認識した。
- 県外の広報プロモーションで活用する新幹線広報素材として、長濱さんのポスターや動画に加え、県内21市町に設置される長濱さんの手書きメッセージ入り等身大パネルも発表された。

## 2. 関西・中国・福岡圏広報プロモーション

実施時期：8月～9月頃

実施場所：大阪駅、京都駅、岡山駅、広島駅、博多駅等

実施概要：誘客のターゲットエリアと考えられる主要エリア（関西・中国・福岡等）において西九州新幹線や長崎県の魅力などについて、電車や駅でのデジタルサイネージ等を活用した広告や、大阪駅でのイベント開催など集中的なプロモーションを実施。

### 3. 二次交通実証運行等、周遊対策

- ・ 新幹線各駅から県内各地への広域交通アクセス改善のため、交通事業者の既存きっぷの組み合わせで県南、県北エリアの企画乗車券を構築する等、二次交通体制を強化
- ・ 佐世保線への振子車両の導入、長崎本線の上下分離方式への移行に伴い、新たな出発を地域住民に周知し、在来線の活用を図る
- ・ JR佐世保線高速化の周知を図るとともに利用を促し、県北地域への高速化効果の波及、拡大を図るため、ラッピングトレイントレインの導入、振子型車両出発式典、パネル展等を実施

### 4. 新幹線各駅等のイベント開催によるにぎわい創出

- ・ 新幹線開業効果を広域的な物産振興にも波及させ、新幹線で来県した観光客の県内各地域への周遊を促進
- ・ 新幹線開業後、駅周辺での賑わいを創出するため、長崎駅、諫早駅、新大村駅、佐世保駅周辺で物販、文化イベント等を開催

### 5. 長崎県新幹線開業対策事業費補助金

補助概要：民間団体等の地域の魅力づくりや既存観光資源の磨き上げ、心のこもったおもてなし等の受入体制構築に向けた取組を促進するため、市町との協調補助による支援

補助率：県 1/3、市町 1/3、事業主体 1/3（県 3/12、沿線 3 市 5/12、事業主体 1/3）

補助実績：令和 2 年度は 2 市 2 町、令和 3 年度は 3 市 1 町が活用（令和 4 年度は 4 市 2 町が活用予定）

### 6. 西九州新幹線（長崎～武雄温泉）開業準備実行委員会

概要：開業効果を県内全体に拡大させるため、県内経済団体青年部と沿線市を中心に設立された実行委員会を設立し、若手人材による民間の主体的な取組を推進

主な取組：開業当日イベントの企画・開催

観光列車への手振り・旗振り

おもてなしフォトコンテストの開催

西九州新幹線ラッピングトラック走行によるPR

西九州新幹線開業PRのぼりの作成・設置

夢の駅弁絵画コンクール開催

ワンハンドフードコンテスト開催

長崎県推し魚PRキャラクターの作成・活用